

令和4年度第1回日田市中小振興推進会議委員発言記録（概要）

日時：令和4年5月24日（火）14：00～

場所：日田市役所7階 庁議室

【協議事項 委員長選出について】

- ・日田市中小企業振興推進会議要綱により、委員長職について説明。
- ・事務局から委員長職案を提案。

○委員

- ・異議なし

【協議事項 新型コロナウイルス関連施策・令和4年度中小企業振興施策について】

○事務局

- ・資料①により新型コロナウイルス関連施策について説明。助成、給付に関するもの、融資に関するものについて、市の事業については実績を併せて報告。
- ・資料②により令和4年度中小企業振興施策について説明。
- ・令和4年度の主な事業5つの基本方針ごとにまとめたもの。
- ・実績は当該事業の令和3年度の実績を示している。

○委員

- ・質疑応答は特になし

【協議事項 中小企業実態調査について】

○事務局

- ・資料③により中小企業訪問調査（案）および調査票について説明。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施しなかった。令和3年度はメール若しくはFAXで調査を実施。令和4年度は訪問して実施を行う。
- ・調査結果の報告については、振興推進会議で行う。
- ・調査件数は、日田市内の事業所50社とし、平成28年経済センサス活動調査の割合に応じて業種の件数とする。
- ・調査実施期間は、6月から8月上旬を予定している。
- ・調査項目は、「デジタル投資計画の有無」、「事業承継について」の2項目を追加した。

○B委員

- ・BCPは、国の重点施策であり、日田市でも災害などが多い地域なので、調査票の1つの項目として取り上げていただきたい。

○事務局

- ・BCPは、1つの項目として調査を行います。

○F委員

- ・11の要望する支援策や意見の欄について、「中小企業振興に関する課題」や「今後の提言」についてなどを記入して回答しやすいようにしたらどうか。

○事務局

- ・訪問調査を実施することで、事業所の雰囲気などを感じ取ることができ、本当にその事業所が支援してほしいことの聞き取りができると考えている。

【協議事業 その他】

○委員長

- ・委員の皆様の現状を伺いたい。

○A委員

- ・雇用調整助成金申請期間が6月30日までの特例措置期間が2か月延長されるマスコミのほうでの報道があった。恐らく2か月延長になると思っている。
- ・令和3年度以降、企業の求人数が増えているが、求職者の数は求人の数に比べると増えてはいない。
- ・円安・原油高・雇用調整助成金の特例措置が終わったときに、各企業がどのような判断するか予想ができない。その都度、企業と求職者にどのような支援をしていくのか考えていかなければならない。

○B委員

- ・事業復活支援金が延長されたが、事前確認はその1週間ぐらい前、IDの発行またその1週間ぐらい前になるので、ホームページを通じて、注意喚起を行っている。皆さまも関係機関でありますので広報支援を行ってほしい。

○事務局

- ・事業復活支援金につきましては市のホームページでも、お知らせを行います。

○C委員

- ・企業も自主自立で行っているが、これを超える場合は産官学民が協力していく必要がある。

・調査票の項目にデジタルDXと事業承継問題が盛り込まれており、その結果から研究していきたい。

○D委員

- ・半導体関係やウォシュレットの納期が遅れている状態である。
- ・国・県・市の助成金や施策を関係者に周知していかないといけない。
- ・零細企業でもデジタル化に取り組んで行かないといけないが導入に踏み込めていない。

○E委員

- ・市内の飲食店では、感染対策がよくできており、テイクアウトよりも店内飲食が多くなった。ただ、コロナに慣れたのか感染防止対策をしていない人を見かける。
- ・3年ぶりの観光祭の感染防止対策はどのように行ったのか。
- ・市ホームページのコロナ感染状況掲載方法が短縮されたのはよかった。
- ・年配の方より年金額の下がったとの声が聞こえる。

○事務局

- ・観光祭については、開催できるように保健所と相談し感染防止対策を行った。鼓笛隊は、演奏前後のマスクの徹底、スタッフには各自消毒液の持ち運び、花火大会では各所に消毒液を配置し感染防止対策を行った。
- ・当初コロナの感染状況は、重症化が重視されていたため、行政側として可能な限り情報を開示していた。ワクチン接種開始や1日の感染者数が重要となってきたため、現在の公開方法になった。

○オブザ

- ・GWの景況感を調査し、コロナ前から4割、5割の減くらいに戻ってきている。津江地域、奥日田地域の道の駅では、コロナ前よりもお客さんは増えている。
- ・宿泊者数は減になっているが、コロナ対策で宿泊者数を半分にしていることや、付加価値をつけているためコロナ前と同じくらいの売り上げとなっている。
- ・今後は、原油高騰による原材料価格高騰が心配となる。価格転嫁できない業種を注視していく必要がある。

○F委員

- ・事業復活支援金、まん延防止時の営業時間短縮要請協力金、雇用調整助成金を活用して事業を進めている。様々な支援金、補助金が終了したときからどのように事業継続をしていくかを考えていかないといけないと感じている。

○G委員

- ・国、県、市の様々な支援を受けて感謝している。
- ・事業承継やデジタル化は直近の問題である。

○H委員

- ・市商工労政課と日田市ビジネスサポートセンターと連携しながら、中小企業の支援を行っている。
- ・ウクライナ情勢による原材料価格高騰により出口の見えない企業が多くなって来る。
- ・事業継承、DX化については、アンケートの項目に必要だと感じている。

○I委員

- ・事業復活支援金は、2月から始まっており、数多くの件数を対応している。
- ・小規模事業者持続化補助金に創業者枠が新たに創設されたので、コロナ禍で創業する方に対して、持続化補助金の創業者枠に採択された方に市からの上乘せ補助ができないか。

○事務局

- ・創業に対しては融資基本と考えている。市の融資には、保証料補助、利子補給の補助をしている融資があるので、持続化補助金創業者枠の上乗せ措置は今のところ考えていない。

【次回日程】

○事務局

- ・8月23日（火）14：00～ に開催させていただきたい。

○委員長

- ・皆さま、次回は8月23日を予定とし、極力、御都合を調整して参加をお願いします。

【閉会】 15：30頃終了